

■平成28年度予算に係る再評価について

・事業評価の実施にあたっては、貨幣換算した便益だけではなく、貨幣換算することが困難な定量的・定性的な効果や事業の実施環境等を含めて総合的に評価を行っているが、本一覧においては、B/Cの算出を行った事業について、その値を記載している。

【公共事業関係費】

【ダム事業】

(直轄事業等)

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体事業費 (億円)	B/C	対応方針	備考
佐賀県	城原川ダム建設事業	485	1.4	継続	
滋賀県	丹生ダム建設事業	A案 ^{※3} : 1,717 B案 ^{※3} : 1,311	A案 ^{※3} :1.4 B案 ^{※3} :1.7	中止	今後の治水対策のあり方に関する有識者会議のご意見を踏まえ、検討内容は、基本的に「中間とりまとめ」(※2)の共通的な考え方に沿って検討されていると認められる。総合評価の結果が、「『ダム建設を含む案』は有利ではない」であり、検討主体の対応方針「中止」は妥当であると考えられる。

(補助事業)

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体事業費 (億円)	B/C	対応方針	備考
香川県	五名ダム再開発事業	220	1.2	継続	
香川県	綾川ダム群連携事業	150	1.6	継続	

※1:本資料については、検討主体から国土交通大臣に報告された、ダム事業の検証に係る「検討結果の報告書」等に基づき作成している。

※2:「今後の治水対策のあり方について 中間とりまとめ」(平成22年9月 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議)

※3:(ダム検証で設定した諸元)

丹生ダムA案:ロックフィルダム 堤高118m 堤頂長391m 総貯水容量 約84,500千m³ 有効貯水容量約77,500千m³

丹生ダムB案:重力式コンクリートダム 堤高89m 堤頂長300m 総貯水容量 約36,700千m³ 有効貯水容量約36,000千m³